

「都市部の友好都市との連携・交流による過疎地域の再生」

概要

地域経済の低迷、少子高齢化や若者の流出により、地域の担い手不足が顕著な久美浜町の再生を図るために、久美浜にある資源を見直し、活かした6次産業化が求められている。今回の事業では、特に、マーケットとして、都市部の「友好都市」を対象とし、そこでの連携・交流を活用し、着地型のツーリズムや特産品の販路開拓を進め、活性化の事業づくりや体制づくりをすることを目的とする。

事業の内容

事業の内容

- ①着地型ツアー企画とモニタリングの実施；友好都市である木津川市と連携し、木津川市民を対象とした秋と冬のツアーを企画し(合計4回)、旅行代理店と連携して、催行した。また、名古屋圏の誘客を図るために、中日ツアーと連携し、ツアーを催行した。
- ②地場産品の販路開拓；久美浜内の生産者や製造者、飲食や宿泊施設どうしの異業種交流会、木津川市の商工会を通じた、飲食や物販事業者を対象とした試食・商談会、木津川市民を対象とした特産品の販売、久美浜の特産品カタログの作成などを行った。
- ③食の開発；久美浜のシンボルである「龍」をテーマとした食のコンテストを開催した。

総事業費

10.8百万円

ポイント

- 都市部の「友好都市」との交流・連携へのターゲットの絞り込みと多様な取組実験
- 専任事務局の設置による、久美浜町内の円滑かつ迅速な調整
- 都市部の友好都市との連携を探り、調整を行う、都市部側でのコーディネーターの設置



本プロジェクト
のロゴマーク

京都府京丹後市



モニターツアー(久美浜湾クルーズ)



試食・商談会(木津川市)



特産品販売(木津川市)



食のコンテスト受賞作品

事業の成果

- モニターツアー実施による、久美浜の魅力の再発見、木津川市の顧客の獲得、ツアー実施のノウハウや連携できる旅行代理店等の確保
- 販路開拓の取組による、町内の事業者どうしの結びつき、木津川市の顧客の確保、参画事業者による新商品開発の刺激づくり
- 食のコンテストの開催による、久美浜名物の候補となる「龍」をテーマとした料理(レシピ)の創造